

プレスリリース

# 幻の大津絵と東海道五拾参次

同時開催：第7回写真公募展【ユーモア】

1月2日（日）～3月6日（日）

前期：1月2日（日）～2月6日（日）日本橋～掛川/後期：2月8日（火）～3月6日（日）袋井～京都



歌川広重《東海道五拾参次 大津》（丸清版）後期出品予定

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。さて、来春、笠間日動美術館では、名所絵の金字塔として親しまれ続けている歌川広重の浮世絵木版画《東海道五拾参次》を版の異なる保永堂版と丸清版の2種類をご紹介します。また、東海道の逢坂関西側に位置する近江国大谷・追分周辺を発祥の地とする大津絵をあわせてご紹介いたします。つきましては、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 展示内容

1835年頃、歌川広重は版元の保永堂（ほえいどう）から「東海道五拾参次」を発表し人気を博しました。その後、成功を収めた広重は、生涯20種類以上の東海道を描きますが、その多くは途中で止められたため55枚の全てを描いた版は限られています。今回は保永堂版と現存数が少ないため幻と称される丸清版をそれぞれ55点展示します。また、東海道53番目の宿場町である大津では、江戸時代初期から信仰の一環として仏画を主題にした大津絵が描かれました。やがて風俗画に教訓や風刺を含む道歌が書かれるようになり、画題は百種類余まで増えたと言われていました。旅人たちは、これを名物土産として購入し全国的に広まりました。しかし、安価な実用品として扱われたためか、現存する大津絵は多くはありません。本展では、近年新たに発見された、画家小糸源太郎旧蔵による大津絵など35点をご覧ください。さらに、岡本一平や茨城県出身の山田みのるなど大正期に活躍した漫画家によって描かれた「東海道五十三次漫画絵巻」をあわせてご紹介します。

## ■ 展覧会概要

- ・ 展覧会名 幻の大津絵と東海道五拾参次
- ・ 会 期 2022年1月2日（日）～3月6日（日）  
（前期：1月2日（日）～2月6日（日）、後期：2月8日（火）～3月6日（日））
- ・ 会 場 笠間日動美術館 企画展示館（茨城県笠間市笠間 978-4）
- ・ 開館時間 午前9時30分より午後5時（入館受付は午後4時30分まで）
- ・ 休 館 日 毎週月曜日（但し、1月10日（月）は開館。翌日休館）
- ・ 入 館 料 大人 1000円、65歳以上 800円、大学・高校生 700円、中学以下無料

春風萬里荘（北大路魯山人旧居）との割引：当日の美術館チケットをお持ちの方は、200円割引（中小生は100円）にてご入館いただけます。割引：20名以上の団体は200円割引、障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は各半額割引となります。

**リピーター割** 「幻の大津絵と東海道五拾参次」会期中二度目以降は、入場券の半券をお持ちいただくと、200円引きで入館できます。（他の割引と併用不可。）

- ・ 主 催 公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館
- ・ 協 力 日本美術商事株式会社
- ・ 後 援 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／茨城放送／茨城新聞／朝日新聞水戸総局  
産経新聞水戸支局／東京新聞水戸支局／毎日新聞社水戸支局／読売新聞水戸支局／  
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

## ■ 会期中のイベント

- ・ ギャラリートーク

1/8（土）、2/26（土）各回14時～（30分程度） / 参加費：無料（要入館料） / 場所：企画館

- ・ 群馬県立近代美術館 特別館長 岡部昌幸氏による講演会

参加費：無料（要入館料） / 場 所：企画館2階中央展示室

日 時：2月20日（日） 14時～ （1時間程度）

- ・ 第7回写真公募展【ユーモア】

会期：1/2（日）～3/6（日） / 会場：企画展示館2階中央展示室

\*現在、応募作品を募集中。応募方法については当館HPの学芸便りからご確認ください。

（応募締め切り 2021年11月30日（火）必着）

■ 春風萬里莊のイベント

第 22 回笠間のひなまつり「桃宴」1 月 26 日（水）～3 月 3 日（木）

春風萬里莊にて江戸時代の雛飾りをご覧いただけます。

入館料：大人 700 円 65 歳以上 600 円 大高生 500 円 中小生 200 円（20 名以上団体各 100 円引き）

\* 新型コロナウイルス感染拡大に伴い予定が変更になる可能性がございます。予めご了承ください。

■ 出品予定作品

（前期：1 月 2 日（日）～2 月 6 日（日）日本橋～掛川/後期：2 月 8 日（火）～3 月 6 日（日）袋井～京都）

東海道五拾参次



歌川広重《東海道五拾参次 日本橋》（丸清版）

前期出品予定



歌川広重《東海道五拾参次 日本橋「朝之景」》（保永堂版）

前期出品予定



歌川広重《東海道五拾参次 庄野》（丸清版）

後期出品予定



歌川広重《東海道五拾参次 庄野「白雨」》（保永堂版）

後期出品予定

大津絵



《鬼の念仏》



《猫と鼠》『古筆大津絵』より



《大夫》

## ■ 交通案内

[JR 利用] ・常磐線友部駅北口より『かさま観光周遊バス』(9:55/10:50/11:50 発)で 15 分  
「日動美術館」下車後、徒歩 1 分(1 回乗車につき 100 円/1 日フリー乗車券 300 円)

・水戸線笠間駅より徒歩約 30 分、レンタサイクル約 10 分

または市内循環バスで約 15 分「日動美術館入口」下車徒歩 2 分

[自動車利用] ・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道 355 号線経由約 6 km

・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道 50 号線経由約 8 km

[高速バス利用]

・『関東やきものライナー』(\*現在、一部運行中。詳しくは茨城交通の HP をご確認ください。)

秋葉原駅中央改札口前、東口交通広場 8 時 20 分発で約 2 時間

「笠間稲荷神社入口」下車徒歩 5 分

\*座席予約制(空席がある場合は予約無しで乗車可)、片道 1650 円、往復 2900 円

## ■ 問い合わせ先

・幻の大津絵と東海道五拾参次 担当：塚野/亀山

309-1611 笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館

Mail t.tsukano22@gmail.com TEL 0296-72-2160 Fax 0297-72-5655